

とうきょうすくわく プログラム 活動報告書



活動実施日：令和7年11月14日(金)・12月11日(木)

各日45分

5歳児クラス 11名

活動のテーマ

<テーマ>

宇宙 -宇宙物質の観察-

<テーマの設定理由>

宇宙人を題材とした紙芝居を読んだ際、子ども達から「本当に宇宙人っているの？」
「見たことある！」など声上がり、今回のテーマを「宇宙」としました。

①問いを考える

子どもたちに宇宙物質を見て、実際に手や道具を使って触れてもらった。その際、
「どんな感触？」、「暖かい？冷たい？」等の問いかけをし、子どもたちそれぞれ
がどのように感じ、表現をし、特性を調べるのか促した。

②環境をデザインする

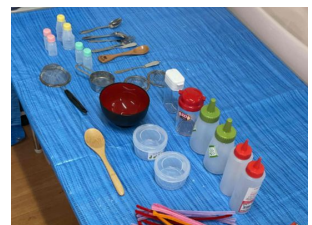
<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

☆素材

・コーンスターチ ・食紅 ・水

☆調査道具

・お玉（プラスチック・ステンレス・木） ・すりこぎ
・茶こし ・ボウル ・泡だて器（プラスチック・ステンレス）
・ボトル（プラスチック） ・お椀 ・ドレッシングボトル
・醤油ボトル（2種） ・マヨネーズボトル ・モール
・バターナイフ ・スプーン ・フォーク ・油引き
・マジックペン ・画用紙 ・クーピー
・スピーカー ・ブルーシート



③探究活動を実践し、記録する

導入として、事前に担任が宇宙人を題材とした紙芝居を読むことで、子どもたちに宇宙や宇宙人に対する疑問や興味が生まれた。そこに講師が宇宙から持ち帰ったという宇宙物質（②での素材を混ぜ合わせたパンの種のようなもの）を子どもたちへ渡し、特性を調べるように促した。

子どもたちは手や指を入れてみたり、掴んでみたり、拳で叩いてみたりと様々な行動が見られた。担任や講師が感想を聞くと、「べたべたする」「かた〜い」「手から取れない〜」「ねんどみたい」等の意見が多く出てきた。

その後、「今度は道具を使ってみたらどうか？」と、用意した様々な道具を用いるように促した。子どもたちは各々好きな道具を選び、探究を続けた。お椀にたくさん入れる子や、かき回し続ける子、養生のブルーシートについたものをひたすら剥がして担任の先生に渡し続ける子など、各自が夢中で調べていた。

最後に今回調べた宇宙物質を採取する宇宙船の設計図をデザインするように促した。子どもたちはそれぞれが感じた宇宙物質を視野に入れながら、マジックペンやクーピーを使って、各々が思うように宇宙船をデザインし担任や講師に見せてくれた。



④振り返る、共有する

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子ども達が未知の物質に驚き、戸惑いを感じながらも最終的に全員が主体的に関わろうとする姿を見て、環境づくりや導入の大切さに改めて気が付いた。

また、普段の保育の中では道具の正しい使い方を意識して教えることが多いが、宇宙物質を調査するために道具の使い方にも創意工夫を凝らして調べる子どもたちの姿に柔軟な発想を感じた。